

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2024年 9月 1日		～ 2024年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2024年 9月 1日		～ 2024年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育と少人数のグループ療育を基本とし、保護者様からのニーズに、柔軟に対応した支援を提供している。	保護者様から頂いた情報をすぐに療育内容に反映するよう、スタッフ間での情報共有に気をつけている。	保護者様との連携だけでなく、本人ニーズのヒアリングにも力を入れていく。
2	ブラジルの言語聴覚士、心理士、教育学、日本の保育士、教員免許、児童指導員など、専門の資格をもったスタッフを配置し、多国籍の利用者様に利用していただいている。	有資格者の求人を中心に募集をしている。専門の知識を持ったスタッフからのアドバイスや、有資格者同士での意見交換にて療育に幅を持たせている。	保護者様からのご期待に沿えるよう、多方面からの有資格者の獲得に注力したい。
3	利用者様が様々な豊かな経験ができるよう、クッキング、運動、制作などプログラムも行っています。季節や、母国の行事に合わせたイベントにも力を入れ、ご家族で参加も可能です。	各イベントでは、作りあげる達成感や他児との協力によるコミュニケーションやチームワークが育つよう意識している。	ご家族参加のイベントの計画を増やし、子どもへの療育の様子を見て頂くことで家庭でも同じように行ってもらい療育の効果をアップ・ご家族のお困り感を軽減できるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスを一部の場所にしか、提供できていない。	支援に注力しており、送迎業務に配置する人員が不足している	送迎要員確保の検討をする
2	事業所が二階のため、車いす等に対応できない。	賃貸物件のため、エレベーターの設置が難しい	車いす用階段昇降機の検討をする
3	個別対応する際、受け入れ人数によっては、集中できるスペースが確保しにくい場面がある。	支援室のエリアが決まっているので、これ以上の拡大ができない	利用者個々の障がいの特性だけでなく、安全面も考慮し、支援室を区切るためのパーティションの利用の検討をする

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ワンライフ NISHIO

公表日 2024年11月18日

利用児童数 37

回収数 23

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	1				・今以上に広さの確保を行うのは物理的に難しいですが、陽がの特性に配慮し、スペースを有効的に活用した支援を行っていきます
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1	1	1	もっと言語が必要。	・現在ブラジル人の言語聴覚士を配置しております。今後も積極的に採用していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1	2	2	車いすの人は来られない。 階段があるため、身体が不自由な子には難しい。	・事業所が二階にあり、貨物物のためエレベーターの設置が難しいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	2			においが不快。プラスチックが溶けたようなにおい。	・清掃時には無臭の薬剤を使用し、事業所内を清潔に保てるよう、より一層努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1				・有資格者のスタッフを配置し、保護者様とコミュニケーションを取りながら支援を行っております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1		1		・公表している支援プログラムに加えて、個別に保護者様のニーズに合わせた支援内容を提供させていただいております。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1				・外国籍の保護者様や支援スタッフに通知を介して、ニーズや課題を聞き取り、個別支援計画の作成に努めております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1		3	親への支援がある。	・個別支援計画書の記載の内容を適宜、更新しております。目標や支援内容など、分かりやすく留意していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1				・作成時だけでなく、計画に基づいた支援が行えるようスタッフ間での情報共有や、本人・保護者様とのご意見をすり合わせを行うことで、より良い支援が行えるよう努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1		1	コミュニケーション不足で同じ活動を2回行ったことがある。	・支援をするスタッフ同士の情報共有が不足していることがありました。情報共有や、スタッフ間のコミュニケーションを十分にとり、再発防止に努めてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	2	9		・現状実施できていません。多文化共生フェスティバルなどのイベントを実施予定で、地域のこども達との関わりも強化していきたいです。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1				・ご契約時、ご不明点などをお伺いすると合わせ、丁寧な説明を心がけてまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	1			そう思う。	・計画書の内容のご説明は、保護者様へ分かりやすく説明を行うよう心がけております。ご不明点やご意見をしっかりとお伺い出来るよう、努めてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2	1	7	家族向けの会や研修があるかどうか分からないが、母親を支援することは非常に大事だと思う。	・ご家族参加も可能なイベントを用意し、スタッフの支援を見て頂く機会や、ご家族と一緒に楽しんでもらえる機会を設けております。今後もこのような機会多く持ち、ご家族支援にも力を入れてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	21	1	1			・支援の内容をお伝えだけでなく、ご家庭での様子や心配事などのお話を伺い情報共有を図っています。お子様の些細な変化でも共有出来るよう更にコミュニケーションを大切にまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1	3			・保護者様のニーズに沿って行っております。保護者様の負担が軽減出来るよう、様々なサポートの提案が出来るよう努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1				・フィードバックの際に保護者様からのお話を聞きながら、よりよい支援について検討しております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	16	1		6		・ご家族参加も可能なイベントを用意し、スタッフの支援を見て頂く機会や、ご家族と一緒に楽しんでもらえる機会を設けております。今後もこのような機会多く持ち、ご家族支援にも力を入れてまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1		4		・保護者様からのニーズに対しては個別で対応を取らせて頂いておりましたが、利用者様全員にサービスの周知を行いより多くの方の相談に乗ることが出来るよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1		1	日数が少ないため、期待通りかどうかはわからない。	・言語面での心配のあるご利用者様や保護者様にも対応できるよう通訳が出来るスタッフを配置しており、翻訳アプリを使用し明確な情報伝達出来るよう努めております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1		3		・支援の様子やイベントの様子はInstagramを使用し、定期的に配信を行っております。自己評価等についても、貼り出しを行うことでお伝えしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1		1		・契約時に個人情報の承諾書を保護者様にいただいた上で、取り扱いには十分に注意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	2	2	11		・事業所内にはマニュアルを策定し設置しておりますが、利用者様全員に訓練の実施ができていないのが現状です。今後は全員に訓練が実施できるよう努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	2	1	14		・月に一度、避難訓練を行っておりますが、利用者様全員に訓練の実施ができていないのが現状です。今後は全員に訓練が実施できるよう努め、保護者様にも救出についての訓練のご協力をお願いしていきたいと思っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1		8		・計画については保護者様への周知が出来ておりませんが、見学時には施設の環境設定などの説明をさせていただいております。今後も環境や利用者様への関わり方については安全第一で運営してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1		3	事故が起きていないからわからない。	・事故発生時は必ず保護者に状況とケガの様子などを説明しております。また事故報告書やヒヤリハット報告書などの記載も行い、再発防止・抑止に努めております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	1				・利用開始時は泣いてしまう子もいますが、日を追うごとに笑顔で通所が出来るようになっていきます。今後もより深く信頼関係を築いて行けるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	2		1	大好き。 学校の友達と一緒にいたいときもあるからどちらとも言えない。	・通所を楽しみにして頂けるよう、ご利用者様のニーズも取り入れながら、支援・イベント等を工夫してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1			頻繁に来られないのが残念。	・遠方からもたくさんの方に利用していただいております。ご家族のニーズに丁寧に対応し、支援に満足していただけるよう、チームでサポートしてまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ワンライフ NISHIO	公表日	2024年11月18日
------	--------------	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3		同時刻での利用が重なった際に、支援環境に配慮する部屋の区切り(パーテーション等)が必要だと思われる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2		階段があるため、身体の不自由な方は来ることができない。 物件都合でエレベーター対応は難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1		コンセントやその他の場所に保護を取り付ける必要がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	3		子どもが多い時にはみんなで一つの空間を使う必要がある。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		インフォーマルなアセスメントがメインになっている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		グループにて活動を行う際には、支援内容やスタッフ配置には共有があり、LINEにて情報共有の漏れがないようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2		必ずではないが、問題があった時にはできている。利用者の様子の情報共有は常に行っていますが、定まった時間を設けては行っていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		他事業所、教育機関と連携して支援を行うことには配慮しているが、医療とは体制が整えられていない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2		助言を頂く機会がどれくらいあるか調べたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	3		今後の法人イベントでは、地域の子どもたちとの交流を促していきたい。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		個別のミーティングをしています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	保護者会はないが、イベント時に保護者参加が可能なものもあり、保護者同士の交流はあると思われる。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1		スムーズな業務遂行と個人情報保護の両立が難しいと思うことがある。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2		今後の法人イベントでは地域の人たちとの交流を促していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3	勤務の都合で訓練に直接参加できない日にも書面や動画による記録でフォローしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		災害時どこに避難するか管理者に確認します。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	医師の指示所は見えていないが、アレルギーの有無に関しては把握をして配慮をしている。	該当児童の有無不明。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8				